

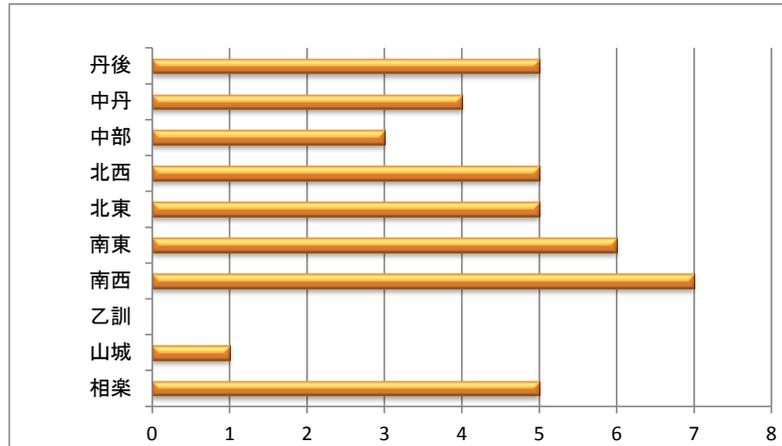
「介護支援専門員の災害対応にかかる意識調査」アンケート集計

公益社団法人京都府介護支援専門員会
災害対策委員会

対象者： 当会ブロック委員67名
実施期間： 平成27年6月11日から平成27年6月27日
回答数： 41名
回収率： 61.2%

問1 あなたの所属ブロックに○をつけてください。

ブロック名	回答
丹後	5
中丹	4
中部	3
北西	5
北東	5
南東	6
南西	7
乙訓	0
山城	1
相楽	5
計	41



問2 介護支援専門員として、利用者のリスク管理について行っているものに○をつけてください。(複数回答)

- | | |
|--|----|
| 1 停電時の対応を検討している | 11 |
| 2 安否確認の方法を検討している | 26 |
| 3 利用者情報を持ち出せるようにして' | 18 |
| 4 その他 | 4 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子、歩行器、商い用台車の備えを提案。 ・書類が避難情報の発令時に対象者へ確認。 ・実働していないので、とくに備えていない。 | |
| 5 何もしていない | 5 |

	丹後	中丹	中部	北西	北東	南東	南西	乙訓	山城	相楽
1	0	1	1	3	2	1	1	0	1	1
2	3	4	1	4	4	1	6	0	1	2
3	3	2	1	2	2	3	5	0	0	0
4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
5	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2

問3 あなたの市町村で防災等にかかる体制について知っているものに○をつけてください。(複数回答)

- | | |
|----------------|----|
| 1 避難場所 | 36 |
| 2 福祉避難所 | 28 |
| 3 防災計画 | 13 |
| 4 防災マップ | 28 |
| 5 要援護者台帳 | 18 |
| 6 災害ボランティアセンター | 9 |
| 7 その他 | 1 |

	丹後	中丹	中部	北西	北東	南東	南西	乙訓	山城	相楽
1	5	4	1	5	4	6	7	0	1	3
2	3	4	1	3	4	4	6	0	1	2
3	2	2	2	2	0	0	2	0	1	2
4	3	4	2	3	4	5	4	0	1	2
5	2	3	1	1	0	2	5	0	1	3
6	0	2	1	1	0	0	3	0	1	1
7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

・全て知っていますが、現状では実際災害時に機能するかどうか疑問に思う程度の体制です。

問4 あなたが勤める事業所・施設における災害へのリスク管理として行っているものに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----|
| 1 災害対応マニュアルの作成 | 23 |
| 2 災害にかかる訓練の実施 | 8 |
| 3 災害用備蓄 | 23 |
| 4 その他 | 6 |

	丹後	中丹	中部	北西	北東	南東	南西	乙訓	山城	相楽
1	1	4	2	3	5	2	4	0	1	1
2	0	1	0	1	1	1	2	0	1	1
3	4	2	2	3	3	2	3	0	1	3
4	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2

- ・特に何もしていない→今後の課題と思っている。
- ・京丹後市でマニュアル作りを平成26年から取り組みを全体、市、福祉事務所等で行い始めたところです。
- ・書類の保管・管理。
- ・要援護者のリスト作成。
- ・無停電電源装置の導入程度です。
- ・災害時に着用するベストとのギャップがある。

※当質問は○印は一つとしていたが、複数回答があり、そのままカウントした。

問5 介護支援専門員が災害時の対応力を高めるために実施していることや必要と思うことを自由にご記入ください。

○平時において

丹後	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に参加する。 ・地区で防災訓練を協力して実施する話があり、検討中。 ・利用者ファイルや緊急連絡先など利用者情報の整備。 ・地域の防災訓練に参加。 ・所在地域の自治組織・施設との連絡会議参加。
中丹	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方たちの連絡(民生委員や区長などの連絡先、利用者・家族の緊急時連絡先把握)。 ・利用者台帳等の整理。 ・災害時に弱者となる利用者の把握。 ・台帳を整理しておく。(要援護者の支援にすぐ入れられるように)。 ・マニュアルの整備。
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に大規模災害に遭遇し対処した経験の生の声を聞いて災害時に一つでも役立てるように行動していく。 ・普段からの横の連絡・連携、行政や専門職だけでなく、例えば独居者の場合、近隣住民への対応。 ・具体的には、顔を合わせた時には必ず挨拶し、一声掛ける。 ・担当利用者及び家族の情報の確保と整理。 ・近隣住民との連絡体制。
北西	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議に出席して地域の防災計画を確認したり、地域の人達と顔の見える関係作りを行っている。 ・ケアマネ間で大樹穂災害発生時に対するイメージ作りを行い、共通認識を持つことが必要と思われる。 ・防災研修への参加。 ・災害模擬訓練(事業所別等)を行っている。 ・避難場所や緊急の連絡先の更新。 ・地域の状況把握。
北東	<ul style="list-style-type: none"> ・机上訓練 ・防災訓練への参加 ・定期的に災害発生時の対応についてスタッフ間・本人・家族と話す。 ・ケアマネ等対象の防災訓練に参加している。 ・災害時用の利用者リスト(ファイル)の更新。 ・災害対応マニュアルに沿って、事業所内で防災訓練を実施する必要がある。
南東	<ul style="list-style-type: none"> ・その地域の避難場所や防災マップを把握しておく。 ・確実な緊急連絡先を確保しておく。 ・利用者の緊急時の連絡先の把握。 ・地域の避難所の把握。 ・地域役員との顔の見える関係作り。 ・情報を電子化するだけでなく、紙媒体でも用意しておく。 ・各利用者毎に災害時必要な支援の整理。 ・自分の事業所のみならず、地域の他職種と災害時のとりきめや役割分担が出来てたらいいと思う。 ・避難場所の確認。 ・その地域の避難場所や防災マップを把握しておく。 ・確実な緊急連絡先を確保しておく。
南西	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に参加している。 ・災害時における対応として、緊急連絡先の確認、連絡網やマニュアルの確認・職員の周知など。 ・地域役員との連携(安否確認を民生さんがしてくれるなど。) ・排泄という待たなしの対応して田舎だからとその強みで〇のない所帯は少ない。 ・ブルーコートやスコップ、尿取りパット、紙パンツの備蓄。 ・地域の災害対策を知っておく必要がある。 ・地域の防災訓練に参加している。(役をしているので) ・災害時対応の防災訓練(職員向け)に以前参加した。(佛大主催他) ・法人の研修や防災委員会への出席。 ・消防団に入って災害時訓練を行っている。
山城	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に参加→反省を交えた再確認。
相楽	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網の整備 ・地域の防災訓練(役場が行う)に参加。 ・防災マップの確認。 ・特別なことはしていません。 ・圏域の連絡・連携体制の整備が必要。 ・多職種連携のネットワークと会議の定期的開催を行っている。

○大規模災害発生時において

丹後	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集などがしやすいように日頃から関係者とのネットワーク作り。 ・要介護度の重い方のご家族と話し合いをしたら2階へ寝袋等で階段に板をかけてつりあげるしくみをとることが安全な避難方法との結論が出ました。 ・早期に連携、情報の共有ができるシステム作り、横の関係作り。 ・地域・行政との連携や細やかな支援。 ・横のつながり ・助け合える関係作り ・お互いの機能、力を確認しておくこと等。
中丹	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に起こりうるリスクに対して経験者による対処方法の研修が必要。 ・安否の確認と避難場所の把握。
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所において災害対応マニュアルに従って行動する。 ・関係機関との連絡。 ・人命救助方法の再確認。
北西	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の活動状況を聞く機会を作ったり、「災害対策マニュアル」に沿った机上訓練等の機会があればよいのではないかと思う。 ・連絡方法など自分自身の身の安全がまず優先すると思います。 ・自身の安全を確保しながらどう支援をしていくのか。 ・役所や消防、警察との連携や役割について明確にしてほしい。
北東	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡方法・情報元・対応方法の統一。 ・冷静な判断力 ・まずは自分の身を守ること。 ・役割を決めておくことは必要と感じています。(事業所内外問わず) ・職員・利用者の安否確認のための連絡網作成。
南東	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の被害状況、通勤方法等、あらゆることを想定して対応策を考える。 ・情報の整理、発信を的確に行う。 ・優先順位別安否確認。
南西	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の安否確認及び出勤可否を確認。 ・出勤者が情報収集、問い合わせ等を対応する。 ・相談窓口がどこなのか、住民が知らないと相談できない為、誰にもわかりやすいよう配慮する、役割分担も重要だと思います。 ・情報集約の手順。 ・連絡網を整備する。 ・認知症や他の疾患のため特別な支援が必要な方への情報をまとめたものが必要。薬情報、福祉機器の対応(エアーマット、呼吸器)、疾患などの情報を伝える。 ・机上での災害時対応訓練や研修の開催。
南東	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の被害状況、通勤方法等、あらゆることを想定して対応策を考える。 ・情報の整理、発信を的確に行う。 ・優先順位別安否確認。
山城	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援→全体支援に繋がるような連携体制確立 ・マニュアル化→個別化(地域性を考慮した)
相楽	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体への働きかけ ・複合施設の中の居宅ケアマネであるため、施設の職員として行動をとる。 ・家族→施設→居宅担当者の順番で救済する体制をしている。 ・系統だった連絡網の整備。 ・必要な支援(ボランティア・物品等)の情報発信。 ・被災地のアセスメントとサービスの提言。 ・要援護者の受け入れ施設の確認とマッチングがいかに迅速に出来るかが重要。

○京都府介護支援専門員会への要望

丹後	<ul style="list-style-type: none"> ・被災された現地で何が求められたかを今一度伺う機会が得られたらと思います。 ・災害で実際に被災した時のケアマネの取った行動や連携した内容を当事者に聞いてみたい。 ・それぞれの地域性に配慮した研修や有事の際の対応（南部と北部の違い）。 ・地震・雨など、災害の種類に応じた研修内容。 ・体験を踏まえた方の講演や研修会。
中丹	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に役立つ情報の収集と発信。（他府県の方を含む。）
中部	<ul style="list-style-type: none"> ・想定外の災害を経験した現場のケアマネの体験談から迅速に対応していけるように研修の開催をしていただきたい。 ・災害委員会の活動の報告と明確化。
北西	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、災害の研修は多いですが、身近に感じられるものでない為、工夫が必要だと思います。 ・例えば、事例を通して考えるとか、実際にあったケースを基にして、介護支援専門員に出来る事は何か、そのために日頃どういう視点が必要かを学べればと思います。 ・災害対応力向上の研修などあればよいと思います。 ・机上訓練の実施や災害時の社会資源マップ作り。 ・行政との連携の具体的な構築の仕方。
北東	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に介護支援専門員がやるべきことは何なのか。 ・具体的な行動指針作成や取り組み事例の紹介等。 ・市町村での取り組みを教えてください。 ・机上訓練の研修（年に2回くらい。）
南東	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ様な目的を持って要介護・要援護者の救助に向かう他団体（市町村・社会福祉協議会・老人福祉施設協議会・老健協会他）と活動や情報収集がバラバラで二度手間を現場にかけない為の協働体制作り。 ・災害時の指示系統、連絡網等の整備。 ・災害対応の研修の開催。 ・介護支援専門員のネットワーク作り。 ・各地域における被災状況の集約場所（包括等）。 ・情報の提供場所の設置。
南西	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応力向上の研修の開催。 ・被災地での対応や課題から具体的に学びたい。（例えば事例を交えた研修など。） ・実際、地域むけの研修でも、情報が上手く伝わらず、訓練でも言いあいになったり、食物がいきわたらず、混乱した。実地での訓練（まずは被災者としてのレベルのものから）が繰り返し必要と思う。
山城	<ul style="list-style-type: none"> ・多事業所参加型の研修開催。（事業所に格差あり。）
相楽	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応力向上の研修の開催。 ・昨年、更新Ⅰの研修で、災害対応力の研修を受けました。このように災害対応力の研修を義務付けることは良い事だと思います。 ・災害対応への一般的な講習や研修は必要かと思う。 ・既存の圏域毎の取り組みの把握と会員への周知。 ・他の職能団体や行政機関との取り決め内容について全員レベルで周知していただければと思います。

◇表内では、ブロック名について下記の通り略称を使用しております。

ブロック名	略称
丹後ブロック	丹後
中丹ブロック	中丹
中部ブロック	中部
京都北西ブロック	北西
京都北東ブロック	北東
京都南東ブロック	南東
京都南西ブロック	南西
乙訓ブロック	乙訓
山城ブロック	山城
相楽ブロック	相楽